

2018年12月20日

課題名：当院救急外来における院内トリアージでのアンダートリアージの頻度
と要因に関する研究

◆研究の目的と概要◆

当院では救急外来において看護師による院内トリアージを実施しておりますが、医師による二次検証でアンダートリアージ(患者様の緊急度評価において適切な基準よりも低めの判断をしてしまう事)と評価された件数、その要因を調査しています。この研究はアンダートリアージの要因を明らかにして、今後より適切なトリアージが実施できるためのデータを
得ることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2016年10月から、2017年9月までの間に、当院救急外来を受診され看護師によるトリアージをうけた方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、看護師によるトリアージ区分、医師による二次検証でのトリアージ区分、救急外来における転帰、診断名

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は
利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、
以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
救急科 研究責任者 市川 元啓

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明